

<http://www.remus.dti.ne.jp/~yoshiki/cocoa/ed1/12/index.html>

http://www.geocities.jp/osx_makuri/learningcocoa.html

<http://idlysphere.blog66.fc2.com/blog-entry-120.html>

基本

- alloc したオブジェクトは release しなければならない
- autorelease したオブジェクトは参照カウンタが 0 になると、イベントサイクルの最後で release される

(関数の戻り値として autorelease したオブジェクトが返される場合、呼び出し元のスコープ内ではそのオブジェクトの生存が保証されているらしい)

- retain したオブジェクトは release しなければならない
- alloc で始まる名前のメソッド以外が返す戻り値は release してはならない (autorelease されている)

おまけ

<http://d.hatena.ne.jp/KishikawaKatsumi/20090520/1242748402>

UIImage#imageNamed: は読み込みも描画も UIImage#imageWithContentsOfFile: やそれ以外のメソッドより 5 ~ 6 倍速い
けど、
UIImage#imageNamed: はクラッシュするまで画像をキャッシュし続けるみたい

なので、明確に確保と解放をするなら

UIImage#initWithContentsOfFile を使って、 release を行う